

年 組 ( 番 ) 名前

記入日 月 日

- 1 このコラムは、書かれている内容で三つに分かれます。二番目と三番目の内容が始まる最初の二字を書きましょう。

二番目の始まり:

--	--

三番目の始まり:

--	--

- 2 コラムはどのような順序で書かれていますか。【1】で分けた三つの部分それぞれについて下記の表の様にまとめました。文章の構成を語群Aから選んで書きましょう。また、それぞれの部分の内容や役割にあてはまるものを語群Bから選び、番号で答えましょう。

	1 番目の部分	2 番目の部分	3 番目の部分
文章の構成			
内容と役割			

《語群A》

結論 本題 導入

《語群B》

1. コラムのテーマについて、事実関係などをくわしく説明している。
2. コラムのテーマに合う雑学などを引用し、読者を引きつけている。
3. コラムで示した事実や根拠をもとに、筆者の考えを述べている。

- 3 筆者が、傍線部「何も言わない方がいい」とさえ思ったのはなぜですか。最も適切な理由を選んで番号を書きましょう。

- ① この場面では、日本語よりもイタリア語で言う方がふさわしいと考えたから。
- ② 筆者の感動の大きさを言い表すのに、適した表現が見当たらないと感じたから。
- ③ 感動して胸が熱くなり、言葉を発することができず分からなかったから。
- ④ 「勝てるのはずっと先」と思っていたため、予想外の結果に言葉が出ないから。

## 編集手帳

「大きな感動」あるいは「感動を超える感動」といった表現でもまだスケールが足りないとき、イタリアの人は「コンムオーベレ」(commovete)と言いたい。◆『翻訳できない世界のことば』(創元社)で、著者のE・F・サンダースさんは次のように説明している。「涙ぐむような物語にふれたとき、感動して、胸が熱くなる」と教わって辞書で調べてみたところ、やはり日本語に当てはまる語句は見つからなかった◆何も言わない方がいいとさえ思う。競泳の池江璃花子選手が、東京五輪のメドレーリレー代表に内定した◆「勝てるのはずっと先のことだと思っていた」。白血病の発症から、2年余りしかたっていない。日本選手権女子100メートルバタフライ決勝で、1位でゴールしたことがわかった、水のなかで肩をふるわせて泣いた。その涙に感動し、胸を熱くした方は多いことだろう◆涙はしょっぱい。アンデルセンは言ったという。「涙は人間がつくる一番小さな海である」。20歳のアスリートが流した涙は、命のまぶしさでは世界の七つの海が束になってもかなわないだろう。

(2021年4月6日 読売新聞朝刊より)  
編集手帳:朝刊一面に毎日掲載(けいさい)されている読売新聞のコラム(短い読み物)